

電気通信大学 平成19年度シラバス

授業科目名	量子・物質工学実験B		
英文授業科目名	Laboratory on Applied Physics and Chemistry B		
開講年度	2007年度	開講年次	3年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	夜間主コース
授業の方法		単位数	3
科目区分	専門科目-学科専門科目-必修科目		
開講学科・専攻	量子・物質工学科		
担当教官名	奥野、阿部、山崎(典)		
居室	東6-401(奥野)		

公開E-Mail	授業関連Webページ

【主題および達成目標】
<p>必須項目。</p> <p>(a) 主題：電気・電子回路の原理を実験を通してより深く理解すること。</p> <p>(b) 達成目標：簡単な回路が組み立てられること、またそれらの動作が解析できること。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
電気・電子回路学、電気・電子回路学演習

【前もって履修しておくことが望ましい科目】

【教科書等】
教科書：実験テキスト

電気通信大学 平成19年度シラバス

【授業内容とその進め方】

授業の進め方：

めいめいが実験卓に分かれて実験を行なう。実験内容はアナログ実験が5、デジタル実験が1である。希望者には特別実験も用意してある。

実験週と予習・復習の週とを交互に置く。復習ではプロジェクターを活用して、レポートの批評を行なう。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

(a) 評価方法：

6個すべての実験を終了し、6個すべてのレポートを提出し、レポートチェックが終わっていることが合格の必要条件である。レポートの質と完了した実験テーマの量も考慮して成績を決める。必ずしも課題すべてを完了しなければならないことはないが、常識的な下限はある。

【オフィスアワー：授業相談】

適宜相談に応じる。

また、追加で実験を希望したい場合にも適宜相談に応じる。

【学生へのメッセージ】

この授業では、実際に使われる回路部品（つまり秋葉原で入手できるパーツ類）を用いて実験する。その意味で、現実社会と密接な接点をもった授業科目です。

【その他】